

# CEOメッセージ

## 「創造 貢献」の理念のもと、「挑戦・変革・共創」を追求し未来にわたり人と社会に貢献する企業へ

### ｜カシオの存在価値をあらためて認識

激変する社会情勢や事業環境を見据え、未来にわたり、人と社会に貢献していく企業になるため「使う人にとって最も大切な存在を創り続ける」というカシオの存在価値を新たに掲げました。

カシオは、創業以来、発明による商品の創造を通じてゲームチェンジャーとしての役割を果たし、新たな生活様式や文化を生み出すことで社会に貢献してきました。これからは多様化するライフスタイルの中で、一人ひとりのユーザーの暮らしの中に溶け込み、使う人にとって、いつも身近にあり、最も大切な存在となるものを創り続けることを目指します。

時計・教育・楽器といった他社には無い競争優位性と確たる事業基盤を有した成長事業を時代に合わせて変革し続けるとともに、カシオの強みや技術を活かした新規市場の創造により、人々の暮らしや社会の豊かさに寄与できると考えています。

こうした存在であり続けるために、環境、社会、ガバナンスに関する取り組みの推進・強化は不可欠であり、経営の重要課題と認識しています。



### ｜環境に配慮した事業活動で気候変動にも対応

カシオでは、気候変動をはじめとする環境への取り組みを、企業活動における重要課題と捉えています。2050年度に温室効果ガス排出実質ゼロという目標に向け、2030年度の削減目標を設定しています。2021年度には当該目標がSBTiからの認定を取得したほか、

「RE100」に加盟しました。進捗としても国内6拠点の電力における100%再生エネルギー化などの取り組みが進んでいます。また2022年7月にはTCFD提言に基づくシナリオ分析を開示しました。

従来、カシオは小型・軽量・薄型・省電力といった、環境負荷の低い商品を創造することに強みがある企業の一つであり、今後とも事業を通じて社会と環境に貢献していきます。

### ｜従業員一人ひとりの力が発揮できる企業風土へ

使う人に役立つ商品・サービスを創造し続けていくためには、人的資本の拡充も重要な課題です。

カシオでは、「挑戦、変革、共創」マインドの醸成を目指した人材戦略を構築・推進していきます。同時に、それぞれの職場・職種に最適な働き方を提供し、社内外の共創を促進する「次世代環境構築プロジェクト」を展開しています。さらには多様な価値観を持つ、一人ひとりの人材が活躍できる企業風土を構築すべく、ダイバーシティにも注力し、多様な人材の育成・マネジメント手法の高度化や各種研修の実践に努めます。

中長期的な展望としては、これらの戦略を推し進めることで多様性を尊重し、従業員一人ひとりが働きがいを持ってイキイキと働ける企業風土への変革を目指します。

## ｜グローバルな視点から人権の尊重にも配慮

グローバルに事業を展開するカシオでは、多様なステークホルダーの人権を尊重していくことが極めて重要だと考えています。人権問題への対応が不十分であると、企業のブランド価値が大きく低下し、製品の不買運動や、お取引先からの取引停止といった大きな経営リスクに発展する恐れがあります。カシオは、今後さらにグローバルな事業展開を進めていくにあたり、「人権の尊重」を重要なサステナビリティ課題として認識し、人権に関する国際行動規範に基づき、取り組みを強化していきます。

2014年に「カシオグループ人権尊重に関する基本方針」を制定し、カシオ独自の「人権チェックツール」を用いて、国内外のグループ会社も含め、人権に関する課題の取り組み状況の確認を継続して実施しています。今後も各拠点で改善に向けてのPDCAを回し、グループ全体の人権デューデリジェンスの強化に努めていきます。

## ｜コーポレート・ガバナンスの強化を着実に推進

サステナビリティを推進していく上で、コーポレート・ガバナンスの強化・充実も重要な経営課題です。とりわけ、取締役会の機能を発揮することが重要であると考えており、取り組みを強化しています。

監査等委員会の委員長は、社外取締役である監査等委員の中から選び、また、社外取締役と社内取締役間の会合等意思疎通を緊密に行うなど、取締役会や監査等委員会の監視・監督・監査機能を充実させています。

また、取締役の指名・報酬決定プロセスの透明性・独立性・客観性と説明責任強化のために設置している指名委員会・報酬委員会の委員長、およびメンバーの過半数を社外取締役とし、社外取締役の役割を強化しています。

そして、社外取締役が適宜経営会議、内部統制委員会、サステナビリティ委員会に出席のうえ、意見・指摘等を行うことにより、アドバイザリー機能が発揮されています。

これからもカシオは、ステークホルダーとの対話を大切にし、未来にわたり人と社会に貢献する企業として、存在価値を高めていきます。

代表取締役 社長 CEO 榎尾 和宏